

事業名	ハート・ペアレント事業
分類	自立支援(人材育成)
支援対象	ニュー・チャイルド・ケア・センター(NCCC) チェイ村

NCCCの意義と意味: 孤児、あるいは孤児に準ずる子供(両親、親戚が養育できない状態におちいった子供)が、安心して生活できる環境の下で、教育を受け自立できるよう物心両面から支援し良き市民としてカンボジアを担っていく人材を育成する。

居住地: シェムリアップ州タクヴェル郡チェイ村、

生活: 道徳、礼儀、健康管理、良好な環境の保持(清掃・整理整頓)などに配慮した生活教育を行っている。一人一人が掃除や皿洗いなどのお手伝いの役割を持っており、チェック表で確認したり年長者が年少者へ声掛けや手助けをしながら将来のためにがんばっている。入所者数: 18名(2014年3月31日現在)

校外教育:

- ・日本語教育: 月曜日から金曜日までHG睦日本語教室で、9人の子ども達が他の子どもと一緒にレベルごとに日本語を学習している。

指導者: 桧尾睦、ゲェ・チョンパー(チェイ小学校内HG睦日本語教室)

- ・英語教育: 4年生以上の子どもはNCCC内で、月曜日から木曜日まで一日1時間英語を学習している。年長者1名は高校近くの英語教室で勉強している。指導者: シ・ジェーン

- ・アプサラダンス: 週に3時間、継続してアプサラダンス(クメール伝統舞踊)を習って訪問者の方に披露している。指導者: スライモム

- ・絵画教室: 「小さな美術スクール」の主宰者・笠原知子さんのご協力により、隔週の土曜日、絵画教室を実施している。子ども達の絵は、昨年同様Tシャツのデザインになったりギャラリーや絵画展に出展している。また今年の2月からは教室に行つての授業となり油絵にも挑戦している。



食堂改修工事・女子棟下改築工事・畑整備終了:

- ・食堂の改修工事が行われ、整った環境のもと食事のマナーにも気を配ったり食事をゆっくりと楽しむことができるようになった。また調理場も大きくなり、子ども達もお手伝いをしながら料理を覚えることができるようになった。

- ・女子棟下に事務室ができた。物品をそろえ、スタッフが机を並べ仕事ができるようになり、管理室では物品の管理や書類の保存が安全にできるようになった。

また保健室としても使い子ども達への指導がやりやすくなった。

- ・畑の整備が行われ、2月にはたくさんのとうもろこしが収穫できた。また有機農業について勉強し有機肥料づくりにも挑戦している。

「サラーチュガニ」保健・栄養・料理教室(おいしい教室)の開催:

お母さんに知識と元気をつけることで、子どもや家族の健康につながるという考えから、チェイ村の主婦を対象に健康のための「サラーチュガニ」を開催した。保健・栄養・料理の3つの教室を開き、料理教室ではカレー、焼きそば、親子丼といった日本料理を、栄養教室では一日に必要な栄養量や栄養素について、保健教室では、看護師や放射線技師による、腸チフス、B型肝炎の予防などの講習が行われた。参加者もメモをとったり、質問したりと楽しんでいた。次年度もこれをさらに発展させて、続けていきたい。

日本への留学: サオピアさんは、高校卒業後 2013年4月から日本語の習得と美容師の技術を学ぶために日本に留学中。

新しいNCCCパンフレットができ、希望者に配布中



支援・協力団体:

日本国際協力財団、高野山真言宗、高野山大学同窓会、高野山真言宗南真会、岡山学芸館外国語学校、岡山学芸館高校、清秀中学校、石井中学校、岡山市立第3藤田小学校、カモンR美容室、ハート・ペアレント(留学里親)、現地訪問寄付者、個人支援者、スプリングチャリティディナー実行委員会、LCIF(国際ライオンズ)、岡山旭ライオンズクラブ、岡山せとうちライオンズクラブ、